

議案第 3 号

救助工作車Ⅱ型の購入について

救助工作車Ⅱ型を買い入れることについて、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和39年野田市条例第7号）第3条の規定により、議会の議決を求める。

- |          |   |
|----------|---|
| 1 契約の目的  | 動産の買入れ                                  |
| (1) 動産名  | 救助工作車Ⅱ型                                 |
| (2) 数量   | 1台                                      |
| 2 契約の方法  | 指名競争入札                                  |
| 3 契約金額   | 金134,530,000円                           |
| 4 契約の相手方 | 東京都港区港南一丁目2番70号<br>帝商株式会社<br>代表取締役 中野 誠 |

令和4年6月10日提出

野田市長 鈴木 有

## 提案理由

車両の老朽化により、救助工作車Ⅱ型1台を更新しようとするものである。

## 物品購入契約書

## 1 購入品目

品名	規格	数量	金額
救助工作車Ⅱ型	別添仕様書のとおり	1台	122,300,000円
以下余白			

2 納入場所 野田市消防本部

3 納入期限 令和5年3月15日

4 契約金額 金134,530,000円

(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額12,230,000円)

5 契約保証金 免除

6 契約不適合責任期間 物品納入引渡しの日から起算して1年間

上記の物品購入について、発注者 野田市 と受注者 帝商株式会社 は、各々の対等な立場における合意に基づいて、別添の条項によって公正な購入契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

なお、この契約は「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」(昭和39年野田市条例第7号)により議会の議決を得たとき効力を生ずるものとする。ただし、議会の議決を得られないとき、この契約は無効となり発注者は損害賠償の責を負わない。

本契約の証として本書2通を作成し、発注者及び受注者が記名押印の上、各自1通を保有する。

令和 年 月 日

発注者 住所 野田市鶴奉7番地の1  
氏名 野田市  
野田市長 鈴木 有

受注者 住所 東京都港区港南一丁目2番70号  
氏名 帝商株式会社  
代表取締役 中野 誠

# 入 札 結 果 表

開 札 日 時	令和4年4月26日 午後3時10分		
開 札 場 所	野田市保健センター4階 405会議室		
落 札 者	帝商株式会社		
落 札 価 格	税込み	134,530,000円 (うち消費税等の額 12,230,000円)	
	税抜き	122,300,000円	

(単位:円)

業 者 名	第1回			
(株)赤尾	辞退			
小池(株)	140,000,000			
ジーエムいちほら工業(株)	139,600,000			
帝商(株)	122,300,000	落札		
長野ポンプ(株)	139,500,000			
日本機械工業(株)	139,000,000			
(株)ネイチャー	142,000,000			
(株)野口ポンプ製作所	辞退			
平和機械(株)	150,800,000			
(株)モリタ	145,000,000			

(消費税等の額を除く。)

令和4年度

救 助 工 作 車 II 型

仕 様 概 要 書

野田市消防本部

野田市消防本部が令和4年度に購入する救助工作車Ⅱ型の架装、性能等については次のとおりである。

## 1 シャシ仕様及び装備

- (1) 車両に使用するシャシは、新長期排気ガス規則に対応できるものから選出とし、規格はシングルワイドキャブ型で、以下の要件を満たすこと。
  - ① シャシ 5. 5トン級低床4輪駆動
  - ② トランスミッション MTとする
  - ③ 乗車定員 6名
  - ④ 最大出力(ネット) ネット240PS以上
  - ⑤ 全長 8,000mm以下
  - ⑥ 全幅 2,360mm以下
  - ⑦ 全高 3,300mm以下(無線アンテナを除く)
- (2) 燃料タンク容量は、100Lの燃料タンクに変更し、外部から直接給油できる給油口を取り付けること。なお、燃料の種類を明記すること。
- (3) センターコンソール付近にメモリー式ポータブルナビゲーションシステムを取り付けること。
- (4) バックカメラは、ルームミラー型モニターに連動して映像を映し出すものとする。また、夜間でも障害物が識別できる構造とすること。
- (5) サスペンションは、常時フル荷重に耐えられる強化サスペンション又は同等品以上のものを取り付けること。
- (6) その他の装備品
  - ① オイルパンヒーターコンセント
  - ② 後退警報機(音声合成装置・解除スイッチ付) 1組
  - ③ 後退・制動LED灯1組
  - ④ 油圧ジャッキ(15トン用)
  - ⑤ ドライブレコーダー(常時録画機能付)
  - ⑥ ディスチャージヘッドランプ
  - ⑦ LED角形デイトイムランプ(標準)
  - ⑧ 支点用大型バウシャックル

## 2 車両艤装の特性

当本部が車両艤装を依頼するに当たり、受注者は次の特性を考慮して艤装すること。

- (1) 車両は、緊急時の無人化、車両放置時の安全及び盗難対策を考慮し艤装すること。また、各シャッターは、アルミ製バータイプ開閉式シャッターとすること。
- (2) 各シャッター及び車体側面収納庫は、施錠できる構造とすること。
- (3) 最大積載量を堅守し、車両重量の軽減に努めて車両を艤装すること。

- (4) 夜間の災害時における安全な活動を考慮し、照明・電源の確保ができる構造とすること。

### 3 キャブ構造及び艤装

- (1) キャブは、鋼板又は軽量で十分な強度を有し、耐食性・耐熱性・耐紫外線性に優れた素材を使用し、天井部はハイルーフとすること。
- (2) センターコンソールは、電子サイレンアンプ・各種照明内蔵スイッチ・照明装置及び無線送受話機が容易に取り扱える構造で取り付けること。
- (3) センターコンソール前方に、A V M操作盤の固定装置を取り付けること。
- (4) 助手席の背もたれに埋め込み式で空気呼吸器1基を固定装置で取り付け、上部に面体収納棚を設けること。
- (5) 隊員席は、座面4席で跳ね上げ式シートとし、背もたれに埋め込み式で空気呼吸器3基を固定装置で取り付けること。

### 4 ボディー構造及び艤装

- (1) ボディーは、軽量で、かつ十分な耐久性を有する構造とすること。
- (2) 艤装は、総対的な重量軽減を図り、車両重量のバランスを考慮し、特に砂塵・防水に注意して製作施工すること。
- (3) ボディーは、ウインチ装置、照明装置、クレーン装置を装備し、扉はアルミ製シャッターで、内部に格式材の収納庫及び収納棚を設けること。
- (4) ボディー前方上部をハイルーフ程度に立ち上げること。
- (5) リアバンパー左右側面にBOXを設け、車外無線送話機をBOX内に取り付けること。
- (6) 車体両側面に設ける資機材収納部の開閉方法は、手動式アルミ製シャッターとし、開扉状態を確認できる表示灯をキャビンに設けること。
- (7) 車体両側面の下部に大型の収納庫を設け、内側にはアルミ製縞板を張り、扉閉時のロック装置付きとすること。
- (8) 車体両側面の下部収納庫の扉はピラーレスの展開式とし、狭隘路対策として下方に入り込む構造とすること。
- (9) 全ての展開式ステップに、夜間でも容易に視認できるよう赤色LED補助照明を3面に取り付けること。
- (10) アウトリガー両側面に保護カバーを設け、上部に黄色灯を設けること。
- (11) 車両右側アウトリガーのカバー内側に受台を設け、20型消火器1本を取り付けること。
- (12) 車両左右のリアフェンダー内に環フックを各2か所取り付け、耐荷重(300kg以上)を表示すること。
- (13) 車体上部右側に脱着式の大型収納ボックスを設け、付近には、かけや・スコップ及びハンマー等が収納でき、庫内灯を設置すること。

- (14) リアバンパー後部中央には可搬式ウインチ（TU-16）収納部を設け、同ウインチ収納部の左右に牽引フックを各1個設けること。

## 5 主要装備

### (1) クレーン装置

- ① クレーン装置の動力は車両トランスミッションPTOで駆動させ、シャシ後部に最大吊り上げ能力2.9トン級クレーン装置を架装すること。
- ② クレーン及びアウトリガーの未格納警報装置を設けること。
- ③ クレーンの仕様は、次のとおりとする。

ア 形式	ユニック URG304GRQ（停止型）
イ 最大クレーン容量	2.93トン以上
ウ 最大ブーム長	8.7m以上
エ 最大地上揚程	10.0m以上
オ 最大作業半径	8.7m以上

### (2) ウインチ装置

- ① ウインチ装置の動力は、車両のトランスミッションPTOで駆動させ、後軸後方のフレーム間に直引き能力5トン級前引き油圧ウインチを架装し、車体の振動やねじれ等に十分耐える強度を有すること。
- ② ワイヤロープの牽引角度は全方向25度まで対応可能とし、乱巻、キンク等が発生しない構造であること。
- ③ 引張力は引き出したロープの長さに関係なく、常に5トン以上であること。
- ④ リモコン装置には張力負荷率（%）を数値及びレベルゲージで表示する設定とすること。
- ⑤ ウインチの仕様は次のとおりとする。

ア 形式	TR030/7 TREIBMATIC ロツラー社製又は同等品とする。
イ 駆動方法	2ローター巻き取り方式
ウ 能力	最大直引能力 常時5トン
エ ワイヤ外径	13.5mm程度
オ ワイヤ長さ	全長60m（有効長45m程度）

### (3) 屋上上昇式照明装置

照明装置はシャシバッテリー電源で使用できるものとする。

#### ① 投光器

- ア 投光器は、車体上部に収納できるものとし、振動に十分耐えられるよう取り付けること。
- イ 投光器は、伸縮、旋回及び上下ふ仰できる構造のもので、有線リモコン及び無線リモコン操作により遠隔操作ができること。
- ウ 投光器の諸元及び性能は、次のとおりとする。



- ㊦ 形式 SLD-2402-UC (LED160W×2灯式)
- ㊧ 伸縮柱 SVO-50-A
- ㊨ 伸縮高 地上高 約5m
- ㊩ 旋回角 右回り 360度
- ㊪ ふ仰角 180度

② 配電操作盤

ア 配電操作盤は、必要最低限の大きさにまとめ、資機材の積載に支障のない箇所に配置すること。

イ 形式 SVO-CB-FW3

(4) 梯子昇降装置

車体上部に三連梯子及びかぎ付き梯子を積載し、積み下ろしは全ての作業が地上から行え、一人で容易に操作ができるダンパー式昇降装置を設けること。

6 積載庫

- (1) 前部席と後部席を貫通し、隊員との情報伝達が容易にできるとともに、貫通接続部の防水対策を十分施すこと。
- (2) 後部隊員席は、両側面に片開きの乗降ドアを設け、隊員席用にドア開閉連動の自動展開ステップを取り付けること。
- (3) 後部隊員席は室内高2,000mmを確保し、後部座席から前方視界が妨げられぬようにすること。
- (4) 積載ボックスの構造は、中央で左右に分離し両側面を5～6区画にすること。
- (5) 積載枠両側上部に下方を照射するLED式照明灯を各2か所設け、スイッチはシャッター及びボックス扉の開閉に連動していること。
- (6) 各資機材の収納は次のとおりとする。
  - ① 災害種別による使用資機材を同一ユニットにまとめること。
  - ② 重量物は可能な限り下部位置となるように収納すること。
  - ③ 収納位置は、当本部と十分協議し、重量バランス、収納効率、軽量化対策等を考慮し製作すること。
- (7) ロープ等の収納は、吊り下げフック付きの引き出しレール式とし、パンチングカバーを中央に張り、左右にロープが掛けられる構造とすること。
- (8) 予備ボンベ収納部は、ボンベ6本が収納でき、ボンベの大きさに合わせストッパー調整ができるものとする。
- (9) 救助資機材等は、積載スペース・重量制限・転倒角度制限の可能な限り積載するものとし、積載不可能の場合は別途協議とすること。

7 フロントバンパー

- (1) ウインチのロープガイドまでフロントバンパーを張り出し、バンパー上部にアルミ縞板を取り付け、3トン用ピンドルフックを左右に設けること。

- (2) ワイヤロープの巻き込み用に、トランペットカップ型のロープガイドを取り付けること。

## 8 リアバンパー

- (1) リアバンパーの上面はアルミ製縞板張りとし、燃料タンク給油口や点検口を設け内側に照明を取り付けること。
- (2) 車両後部両側に最大牽引能力に十分耐えられるステンレス製牽引フックを設けること。
- (3) 後退警報器用スピーカーをリアバンパー内に取り付けること。
- (4) リアバンパー後部中央部に可搬式ウインチ(TU-16)収納部を設けること。

## 9 灯火類

- (1) 両側面後部座席扉の上部に標識灯を埋め込みにて取り付けること。
- (2) 車体両側面の嵩上げ部に車体周囲を有効的に照射できるLED作業灯を各2か所設けること。
- (3) 積載庫上部デッキ部分には、夜間の視認性向上のため、デッキ作業灯を左右に必要数設けること。
- (4) 車体両側面の嵩上げ部にLED赤色点滅灯を各3か所設けること。
- (5) フロントバンパー両側面にLED式赤色点滅灯を取り付けること。
- (6) 車体後部壁面にLED赤色点滅灯を左右に各1か所設けること。
- (7) 車体後部壁面にLED作業灯を左右に各1か所設けること。
- (8) ルーフ前面に連発型赤色灯を12個設け、両側面の上部に連発型赤色灯各1個、作業灯各1個を設置すること。

## 10 電装

- (1) キャブ屋根上に取り付ける電装品は、強固に取り付けるとともに、防水を施すこと。
- (2) 前部LED式赤色灯、ハイルーフ内蔵連発型散光式警光灯、側面及び後部LED赤色点滅灯は、同一スイッチとする。
- (3) キャビン内天井部の内張りは、電装品及び各配線の点検が容易に行える構造であること。
- (4) 工作車に装備されるウインチ、クレーン及び照明装置を使用する際に、最適なエンジン回転数を自動的に選択する装置を設けること。

## 11 塗装及び記入文字

- (1) 塗装
  - ① 車両は、プラサフで下塗りし、上塗りを2回以上吹付塗装し、最終仕上げを焼付塗装ですること。

- ② 外面の塗装は、朱色とする。
  - ③ アルミ縞鋼板、ステンレス素材、鍍金加工部以外は全て塗装を施し露出部がないようにすること。
- (2) 記入文字は、反射材を使用し、次のとおり貼り付けること。
- ① 運転席及び助手席ドア最下部に「消防署」と銀色で記入すること。
  - ② 両側面隊員席ドアに「野田市消防本部」と銀色で記入すること。
  - ③ 運転席及び助手席ドアの後方側に「当本部消防隊章」を正確に再現して貼り付け、消防隊章の約10cm下部に「特別救助隊」と銀色で記入すること。
  - ④ 両側面シャッターの後方に「RESCUE」、その下部に「TEAM OF NODA」と記入し、上部の余白部分に「千葉県」と、いずれも銀色で記入すること。
  - ⑤ 左右のアウトリガー保護カバー下部に「特別救助隊」と銀色で記入すること。
  - ⑥ キャブ上部アルミ製縞板に黒色で「千葉」、「野田R1」と二段で記入すること。
  - ⑦ キャビンのドアから最後部のシャッターにかけて、燕の軌跡をモチーフにしたデザインを左右に貼り付けること。
  - ⑧ ハイルフに取り付けられた赤色警光灯上部に「NODA CITY FIRE DEPT.」と銀色で記入すること。
  - ⑨ クレーンブーム両側面に「NODA CITY」その下に「FIRE DEPARTMENT」と白色で二段に記入すること。
  - ⑩ 全ての文字は左から丸ゴシック体でバランスよく記入すること。

## 12 補則

- (1) 車両の納入期限は、令和5年3月15日までとする。ただし、天変地異、大規模な国際戦争、疫病その他当事者の責めに帰することのできない事由により納入期限に車両を納入できない場合は、直ちに野田市消防本部に報告し、その対応を協議すること。
- (2) 車両は、全ての検査に合格したものを納入すること。
- (3) 納入時は、付属品の員数点検をすること。
- (4) 保証期限は、完成車両納車後1年間とすること。ただし、保証期限以降といえども設計又は工作不良に起因する不都合が生じた場合には、無償で修繕又は良品と交換すること。
- (5) 付属品及び取付品は別表のとおりとすること。
- (6) 受注者は、納入後に行う点検時に当本部が指定するオイル・オイルエレメント・油脂類の交換等を行うこと。なお、1年間の法定点検及び整備費も受注者負担とする。

別表 1

No.	品 名		数 量
1	かぎ付はしご		1 個
2	三連梯子		1 個
3	サバイバースリング		1 個
4	ロープ (200m)		2 箱
5	カラビナ		10 個
6	滑車		3 個
7	油圧ジャッキ式		1 機
8	可搬ウインチ (ワイヤー付き)		一式
9	ワイヤーロープ		2 本
10	マンホール救助器具		一式
11	油圧切断機		一式
12	エンジンカッター (替え刃付き)		1 機
13	溶断機		1 機
14	チェーンソー (予備チェーン付き)		1 機
15	鉄線カッター		1 個
16	万能斧		2 個
17	ハンマー		1 個
18	化学剤検知器		1 器
19	空気呼吸器 (面体付き)		5 基
20	空気呼吸器予備ボンベ		18 本
21	耐電手袋		2 双
22	化学防護手袋		5 双
23	携帯警報器 (スーパーパスⅡ)		5 個
24	携帯警報器 (活線警報器)		2 個
25	防毒マスク一式 (面体・吸収缶・フィルター)		5 組
26	化学防護服		5 着
27	陽圧式化学防護服		2 着
28	簡易画像探査機		一式
29	噴霧器		一式
30	流水救助器具一式	急流救助用救命胴衣	3 着
		スローバック	2 個
31	救命胴衣		6 着
32	登山器具一式	100mロープ (バック付き)	3 バック
		フルボディーハーネス	4 個
		ID	2 個

No.	品 名		数 量
3 3	投光器一式 (収納バック付き)	投光器本体	1機
		三脚	1脚
		コントロールボックス	1機
		ケーブル(30m)	1本
3 4	携帯投光器		2個
3 5	携帯拡声器		2個
3 6	応急処置用セット(20人用)		2セット
3 7	その他の携帯救助器具	鋸	1個
3 8		掛矢	1個
3 9		スコップ(剣先)	1個
4 0		スコップ(角)	1個
4 1		つるはし	1個
4 2		とび口	2本
4 3		鉄筋探索機	1機

別表 2

No.	品 名		数 量
1	マット型空気ジャッキ 一式	マイティバックSV-5	1個
2		マイティバックSV-10	1個
3		マイティバックSV-20	1個
4		マイティバックSV-33L	1個
5		SACU調整期	1個
6		ストップバルブ	4個
7		減圧器	1個
8		SBVホース	2本
9		フットポンプ	1個
10		救助用ブロック セット2	1セット
11		ステップチョーク	2個
12	大型油圧スプレッター 一式	ルーカスSP333E3	1機
13		ルーカスチェーンセット	1セット
14		プロテクションカバーセット	1セット
15	救助用支柱器具		一式
16	空気鋸		一式

17	削岩機		一式
18	ハンマードリル		一式
19	送排風機		1機
20	耐電衣		2着
21	耐電ズボン		2着
22	耐電長靴		2足
23	特殊ヘルメット（帯電帽子）		2個
24	発電機	EU 9i	1機
25		EU 16i	1機
26	エアーテント		一式

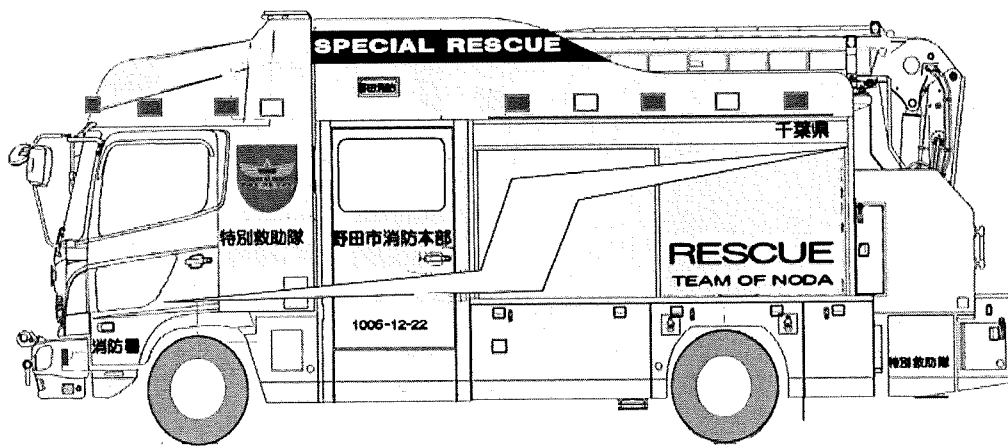
別表3

No.	品名	数量
1	熱画像直視装置	一式

別表1～3以外の積載品

No.	品名	数量	
1	安全ベスト	ラジオハーネスRV-1	6着
		セルフォンカバーL	5着
2	光学距離測定器	1器	
3	スケール	1個	
4	調査カバン（セイバーズ）	1個	
5	合図灯（伸縮式）	1個	
6	LEDライトチャージライト	1個	
7	軽量三脚	1機	
8	プロテクター（セイバーズ）	5組	
9	歩行式距離測定器	1器	
10	三角表示灯	1個	
11	巻き尺	1個	
12	立ち入り禁止テープ	3個	
13	鍵閉じ込め開錠セット	マジカルロックアウトツール900	各1個
		リモートコントロールマスタードツール	
14	セーフティーライト	1個	
15	延長コード	2個	
16	コードリール	1個	

No.	品 名		数 量
17	特災ボックス	ツールキャリーバックPRO	各2個
		ツールバックL	
18	化学防護服収納袋（セイバーズ）		5袋
19	アルミキャリア		1台
20	パタコーン		4個
21	ミニクルライト		3個
22	エッジガード		1個
23	デジタル無線機（予備バッテリー1台含む）		1台
24	デジカメ		1台
25	脚立（アルミ製折畳作業台）		1台



救助工作車Ⅱ型